

平成 27 年 7 月 24 日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

愛知県の自治体を対象に 災害対策用機械の操作講習会を実施！

～平成27年度 愛知県災害対策用機械操作講習会を開催～

1 概要

国土交通省では、大規模災害により被災に対する地域支援の強化に取り組んでおります。これら災害対応にあつては、中部地方整備局と被災した地方自治体との連携が重要であることから、今回、愛知県防災局との共催で、愛知県、県内自治体職員（※1）及び愛知県内自治体の災害協力業者（※2）を対象とした「平成27年度 愛知県災害対策用機械操作講習会」を開催します。

※ 次頁参照

2 内容等

日 時：平成27年7月29日(水)（災害協力業者・愛知県内自治体職員）
7月30日(木)（災害協力業者）
両日とも10:00～15:20
場 所：中部技術事務所構内
内 容：〈基本説明〉
災害対策用機械の設置方法 機能説明等について
〈操作訓練〉
災害対策用機械の設置操作を班に分かれ実施

報道取材：操作講習会の全般において取材が可能です。

3 資料：添付資料

4 配布先：中部地方整備局 記者クラブ

5 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 上野 広志 TEL:052-723-5701 (代表)
技術情報管理官 鈴木 孝之 FAX:052-723-5707

※1 愛知県、県内自治体職員

今回の操作講習会では、災害対応時における相互の連携が非常に重要であることから、愛知県並びに同県内の市町村の防災・建設関係部局の職員です。

※2 災害協力業者

災害などの緊急時に、早期の応急対策や二次災害防止のための支援について協定を締結した民間団体の構成員です。公共施設の調査等のほか、応急復旧工事を行って頂く業者です。

操作講習会予定参加者数

平成27年	7月29日(水)		
対象	愛知県、県内自治体職員	30	名
	愛知県内自治体の災害協力業者	42	名
平成27年	7月30日(木)		
対象	愛知県内自治体の災害協力業者	63	名

講習会スケジュール予定

開催日7月29日及び7月30日の両日とも

1. 開会挨拶 10:00 ~ 10:10 《中部技術事務所庁舎 会議室》
2. 基本説明 10:10 ~ 11:00 《中部技術事務所庁舎 会議室》
・災害対策用機械設置にあたっての注意事項などの説明を行います。
3. 操作講習 11:00 ~ 15:20 《中部技術事務所構内》
(12:00 ~ 13:00 昼休み)
・講習参加者が班に分かれて、災害対策用機械の操作訓練を行います。

○中部技術事務所が保有する災害対策用機械

添付資料

排水ポンプ車(60m3/min級、高揚程)
浸水被害を排水ポンプで軽減します。



平成22年度
東日本大震災(仙台空港)で活動

照明車
災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。



平成22年度
岐阜市八百津町土砂崩れで活動

対策本部車
現地対策本部として活用します。



構内での操作訓練

待機支援車
災害現場で仮眠所・休憩所として活用します。



平成22年度
東日本大震災で活動

衛星通信車
衛星を利用し、映像・音声などを送信します。



平成26年度
御岳噴火で活動

ラフテレーンクレーン
資機材を吊り上げ移動して復旧活動を支援します。



構内での操作訓練

無人化施工バックホウ
災害現場へ空輸でき、遠隔操作にて掘削作業を行います。



平成25年度
奈良県五條市の土砂崩落現場で活動

保有機械一覧

車両名	規格	台数	中部地整内台数
排水ポンプ車	40m3/min級	1	36
	60m3/min級 高揚程	2	
	30m3/min級	3	
照明車	25kVA 20m	3	34
	25kVA 10m	3	
対策本部車	拡幅式	1	8
待機支援車	9床	1	7
衛星通信車	発電機付	1	6
ラフテレーンクレーン	油圧式25t吊	1	1
無人化施工バックホウ	1.0m3 分解組立型	2	2
投下型水位計	水圧式	2	2
レーザー距離計		1	1
応急組立橋	40m,2車	1	5

※無人化施工バックホウ・投下型水位計は、中部地整では、各2台中部技術事務所のみで保有しています。

投下型水位計
河道閉塞時の湛水箇所でも継続的に水位を観測します。



平成23年度
奈良県十津川村天然ダムにおいて活動

レーザー距離計
安全な場所からの計測により、迅速な被災状況を把握し、復旧活動を支援します。



平成23年度
台風12号の被災状況調査

応急組立橋
災害時に仮設の橋梁を設置し、通行路を確保します。



平成16年度
岐阜県飛騨市における応急架設

台数は平成27年4月現在

平成27年度 災害対策用機械 操作講習会



災害時に
即役立つ

開催日 平成27年7月29日・7月30日（予定）
開催場所 国土交通省 中部技術事務所
名古屋市東区大幸南1丁目15号

国土交通省所有の
災害対策用機械の操作を学ぼう！

国土交通省所有の照明車や排水ポンプ車を代表する災害対策用機械は、自治体での災害対応にも派遣を行い、多く活躍しています。

災害時にいち早く被災地に向かい、災害対応を実施する災害対策用機械は、迅速で確実な操作が必要であるとともに、被災地での応急対応は危険を伴う作業となることから、常日頃の操作訓練が重要です。このため中部地方整備局では、災害対策用機械の操作訓練を定期的実施しています。

中部地方整備局が災害時の地域支援を実施にあっては、各自治体との連携が不可欠となります。愛知県においては、南海トラフ巨大地震による広域的な被害の発生が想定されていることから、より緊密な災害対応が不可欠となります。県内各自治体と協同で操作訓練を実施することにより、相互に防災意識を高め、災害時の効率的な対応実施に寄与すると考えます。

今回、愛知県と中部地方整備局との共催で、愛知県をはじめ県内自治体関係者および災害時協力業者を対象とした「災害対策用機械操作講習会」を開催します。

講習会内容

講習会スケジュール

- 平成27年7月29日 県・自治体 職員対象
災害時協力業者
- 7月30日 県・自治体 災害時協力業者
- (1)開会・挨拶 10:00~10:10
(2)事前説明 10:10~10:50
(3)操作訓練 10:50~12:00
13:00~15:00
(4)閉会 15:20頃予定

参加予定車両等

- 訓練車両
 - ・排水ポンプ車(30m³/min級 高揚程)
 - ・照明車(25kVA 10m)
 - ・照明車(25kVA 20m)
- 展示デモ
 - ・対策本部車(車両拡幅式)
 - ・待機支援車
 - ・無人化施工バックホウ
 - ・投下型水位計

基礎知識の習得(事前説明)

災害対策用機械の概要及び基本的な操作方法等を説明します。



排水ポンプ車操作訓練

排水ポンプ車の設置方法及び操作方法を説明します。また、訓練水槽にて実際に排水運転を実施します。



照明車操作訓練

照明車の設置方法及び操作方法を説明します。設置後は実際にライトの点灯も実施します。



目測・ロープワーク

災害対応時に役立つ目測及びロープワークを体験出来ません。



対策本部車・待機支援車

対策本部車・待機支援車の設置・展示します。



無人化施工バックホウの操作デモ

分解が可能で、運搬道路が分断しても、ヘリコプターでの運搬ができます。遠隔操作により、危険な箇所でも人が乗らず作業可能。



講習会内容

投下型水位計の展示説明

ヘリコプターから投下して土砂ダム等の水位を計測する投下型水位計の展示説明を行います。



当日の服装等について

当日の服装は「作業着、ヘルメット、軍手」の用意をお願いします。また、雨天時用にカッパの用意をお願いします。

継続学習制度(CPDS) 認定講習会

当講習会は、継続学習制度(CPDS)認定講習会です。
希望者には、受講証明書をお渡します。

